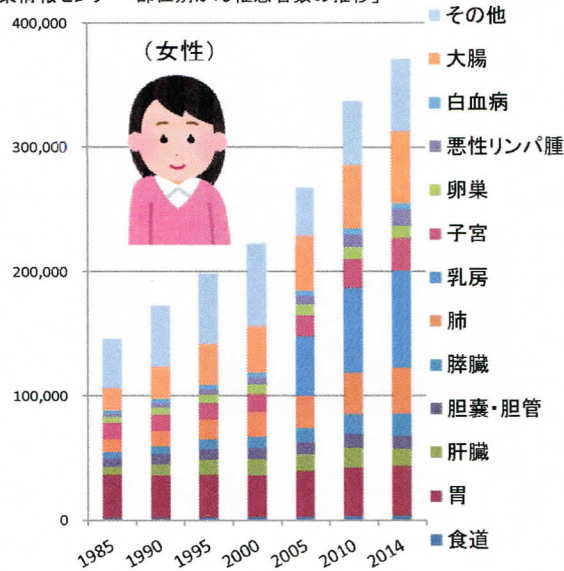
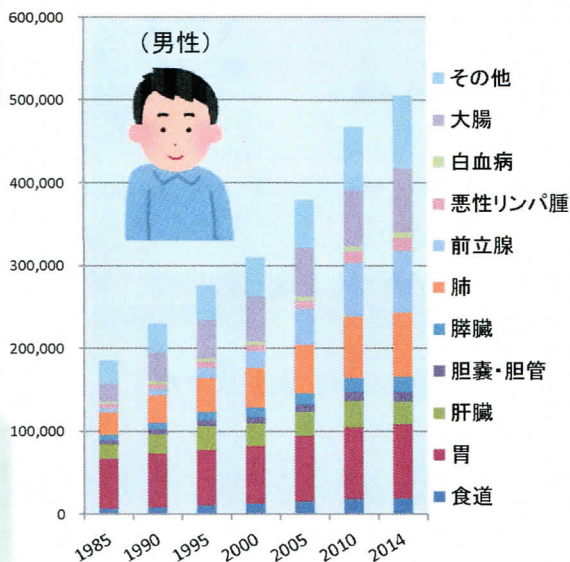


★がん罹患患者数はどんどん増えている！

資料：国立がん研究センターがん対策情報センター「部位別がん罹患患者数の推移」

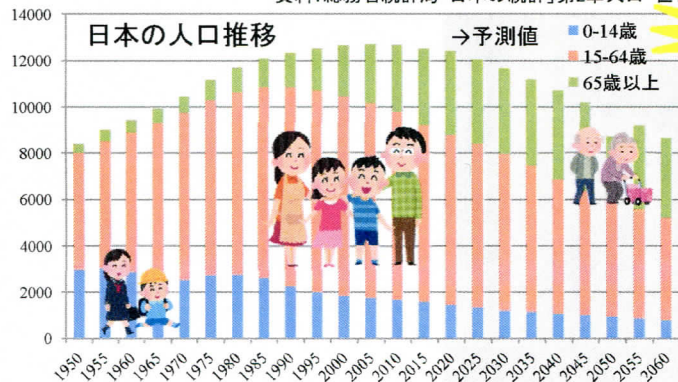
グラフのように、男女とも、がんの患者数は、1985年以降増加し続けています。2014年のがんの患者数は1985年の約2.5倍です。がん患者の増加の主な原因は人口の高齢化とも言われています。

2人に1人ががんになると言われている時代。他人事じゃないですよ。



★少子高齢化と献血状況

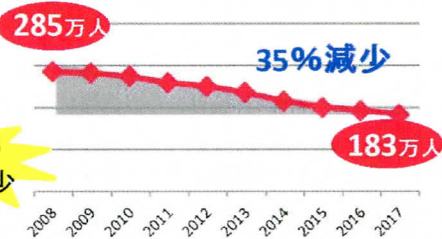
資料：総務省統計局「日本の統計」第2章人口・世帯



しかし・・・、この10年間で、10～30代の献血は、35%も減少してしまいました。

少子高齢化

若年層の献血者減少



さらに・・・

埼玉県内では近年、医療機関やベッドの数を増やすなど、血液の需要が高まっています。

輸血を必要とする患者さんを支えるためには、今まで以上に！皆様から献血のご協力をいただく必要があります。

このままのペースで少子高齢化がすすむと、若者（献血する側）は減少、高齢者（輸血を必要とする側）はますます増加します。

★編集後記

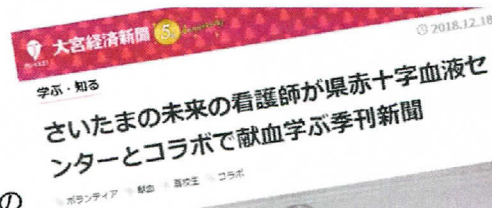
今回の冬号では、「献血をどんな人が必要としているかについて」情報をお届けしましたがいかがでしたか？

さまざまな原因がありますが、主のがんの患者さんが4割と非常に割合が高いことが分かります。

それに対して輸血をするための血液の確保はよりいっそう厳しくなります。

しかし、血液は人工的に作る事ができません。そのため、みなさんの献血へのご協力が必要不可欠です。

どうか皆様、献血へのご協力引き続きよろしく願いいたします！



『大宮経済新聞』

(広域大宮圏のビジネス&カルチャーニュース)

と『Yahoo!ニュース』にわたしたちの取り組みを掲載していただきました！



https://omiya.keizai.biz/

これからも応援よろしく
お願いします♪

はげみになります！
感想やリクエストはこちらまで！
埼玉県赤十字血液センター企画課
st-kikaku@ktsk.bbc.jrc.or.jp